現代文重要語 - 四字熟語編

首尾一貫	始めから終わりまで一筋に貫くこと。
渾然一体	別々のものが一つに溶け合うこと。
玉石混淆	優れたものとつまらぬものがいりまじっていること
紆余曲折	曲がりくねって入り組んでいること。
千差万別	いろいろな差別・種類があること。
雲散霧消	跡形もなくなること。
博覽強記	広く書物を読み、よく覚えていること。
才色兼備	優れた才能と美しい容貌に恵まれていること。
異口同音	口をそろえて同じことをいうこと。
牛飲馬食	牛や馬のようにたくさん飲食すること。
事大主義	一定の見識を持たず、勢力のあるものに従うやり方。
脱亜入欧	アジアから抜け出して、ヨーロッパの仲間入りをすること。
支離滅裂	統一もなく、バラバラなこと。
荒唐無稽	とりとめがなく、でたらめなこと。
無味乾燥	味がなく、面白味がないこと。
氣息奄々	息が絶え絶えで死にそうな様。
自縄自縛	自分の言行が原因で動きがとれなくなること。
輾轉反側	眠れずに寝返りばかり打つこと。
一網打尽	一度に全部捉えること。
一刀兩断	思い切って物事を処理すること。
一衣帶水	(水を隔てて)二つのものが非常に近いこと。
当意即妙	そのときに適応したその場の機転。
衆人環視	多くの人が見ていること。
傍目八目	当事者よりも第三者の方が利害得失が一目でわかるということ。
巧言令色	口先ばかりうまく愛想良くして、人にこびへつらうこと。
付和雷同	自分の見識を持たず、他人の説にわけもなく従うこと。
疑心暗鬼	心に疑いがあると、何でもないことまで怪しく思われるということ。
切齒扼腕	ひどく悔しがること。
杓子定規	一定の基準ですべてをはかろうとすること。応用や融通が利かないこと。
馬耳東風	人の意見を気にかけずに聞き流すこと。
夜郎自大	自分の力量を知らずに威張ること。
傍若無人	他人を無視して勝手に振る舞うこと。
大言壯語	実力もないのに大きなことをいうこと。
罵詈雑言	口汚く相手をののしること。
我田引水	自分に都合のいいように取りはからうこと。
牽強附会	自分に都合のいいように無理にこじつけること。
正真正銘	完全に本物であること。
臥薪嘗胆	目的を達成するために苦勞すること。

起死回生	死にかかっているものを生き返らせること。
徒手空拳	自分の力以外、何も頼るものがないこと。
君子豹変	自分の都合が悪くなると、すぐに考え・態度を変えること。
明窓浄机	勉強をするのに快適な場所。
波瀾万丈	事件などの変化が激しいこと。
千載一遇	またとない絶好の機会。
一期一会	一緒に一度限りであること。
前代未聞	今までに聞いたこともない珍しいこと。
複雑多岐	多方面に込み入っていること。
暖衣飽食	物質的な欲求が満たされた生活。
画竜点睛	最後の総仕上げ。
換骨奪胎	個人の詩文の語句・内容を生かしつつ、新しいものを作ること。
勸善懲惡	よいことを勧め、悪いことを懲らしめること。
不易流行	移り変わるものの中に、永遠に変わらない本質的なものがあるとする考え方
花鳥諷詠	四季の移り変わりによって起こる自然・人事の現象を俳句に詠むこと。
感情移入	自己の感情を他人に投影し、他人の立場になって共感すること。
天衣無縫	詩歌などが自然で、しかも完全で美しいこと。
意味深長	意味に深みがあって複雑なこと。
同工異曲	見かけは違うが、実は同じ手際であること。
和魂洋才	日本固有の精神と、西洋伝来の学識を兼ね備えること。
片言隻句	ちょっとした言葉。
二律背反	二つの命題が互いに矛盾して両立しないこと。
森羅万象	宇宙に存在する一切のもの。
諸行無常	この世のものはすべて移り変わって少しの間もとどまっていないということ
盛者必衰	勢いの盛んなものもいつかは必ず衰えるということ。
有為轉變	この世のことは常に変化してやまないということ。
欣求浄土	極楽浄土に往生することを喜んで求めること。
獅子奮迅	獅子が怒り狂うように激しく戦うこと。
常住坐臥	普段。常日頃。
以心伝心	言葉によらず気持ちが通じ合うこと。
言語道断	もってのほかであること。
单刀直入	前置きなしに直ちに本論にはいること。
不即不離	つかず離れずの関係にあること。